

# うみ

議会  
だより

2016.5.13

No. 61

福岡県宇美町議会



昭和の森  
釣れたよ

平成28年度当初予算  
限られた財源 重点的・効率的配分 ②

一般質問 町政を問う8人が登壇 ⑩

常任委員会報告 ⑱

# 限られた予算を 重点的・効率的配分

3月  
定例会

## 平成28年度予算の特徴

- ①前年度当初予算比約3%増  
(3億1,950万円)
- ②第6次総合計画の目標に向けた  
事業に重点配分
- ③義務的経費増
- ④基金を取り崩し予算編成

宇美

●町の将来像とともに創る「自然とにぎわいが融合したまち」

●基本理念「ひとが輝き、地域が輝き、まちが輝く」元気なまちづくり

●第6次総合計画を昨年3月に策定、平成34年度までのまちづくりの方向性を定めた。

●平成28年度の一般会計予算の総額は、111億4,637万円、前年度対比約3%の増額予算となった。

●この三つを目標に掲げ、重点配分された。

①都市機能の集約と自然、歴史的・文化的資源の活用によるにぎわいの創出

②地域の創意工夫と主体性を生かした共働による地域づくりの推進

③安心して産み育てることができ、子育て・子育て環境の整備

●一般質問には8議員の質問があり、議員提出議案1件を審議しました。

●平成28年度当初予算の一般会計・特別会計・条例について特別委員会が慎重に審議を行い、すべて原案のとおり可決しました。

●平成28年度当初予算の一般会計・特別会計・条例について特別委員会が慎重に審議を行い、すべて原案のとおり可決しました。

●平成28年3月定例会は、7日から23日までの17日間の会期で開きました。

## 大型事業目白押し

## 防災にも重点配分

消防費 (単位:万円未満四捨五入)

土砂災害ハザードマップ改訂版作製・配布業務委託料

526万円

移動系デジタルMCA

無線整備工事請負費

1,285万円

防災行政無線デジタル化

工事請負費

4億2,800万円

福岡県防災行政情報通信

ネットワーク再整備事業

負担金

434万円



平成28年宇美町消防団交替式

# 平成28年度一般会計予算決まる 111億4,637万円の使いみち

(賛成 11：反対2で可決)



平成28年4月開園 宇美タンポポ保育園 新入園児

## 過去5年間の一般会計当初予算の推移

(単位：千円)

区分/年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
自主財源	町 税	3,284,392	3,333,098	3,352,004	3,360,936	3,431,854
	そ の 他	994,142	1,073,382	1,358,892	1,358,640	1,290,976
	小 計	4,278,534	4,406,480	4,710,896	4,719,576	4,722,830
	比 率	43.1%	41.9%	41.5%	43.6%	42.4%
依存財源	地方交付税	2,721,533	2,704,628	2,739,984	2,649,224	2,531,486
	国県支出金	1,497,934	1,665,867	2,197,097	2,012,403	2,101,509
	町 債	925,400	1,257,100	1,137,800	799,200	1,009,900
	そ の 他	495,400	490,500	568,924	646,472	780,646
	小 計	5,640,267	6,118,095	6,643,805	6,107,299	6,423,541
	比 率	56.9%	58.1%	58.5%	56.4%	57.6%
一般会計当初予算合計		9,918,801	10,524,575	11,354,701	10,826,875	11,146,371

当初予算審査  
特別委員会

平成28年度予算を  
徹底審査

当初予算については、議長を除く、議員全員による予算審査特別委員会を設置、活発な質疑がされました。主な質疑内容を要約してお知らせします。

一般会計

地域づくり

**Q** コーディネーター配置は  
**Q** コーディネーターの役割は。

**A** 各校区コミュニティからの要望、申請等の窓口、情報収集、情報提供、研修会など担当する。

公共施設等総合管理計画

**Q** 平成26年度から5カ年で保全計画を策定しているが、それとの整合性は。

**A** 修繕の緊急性、修繕箇所を特定し、その費用

を算出し、財政状況を鑑み、今年度は見送っている。公共施設総合管理計画は、今後10年以上の運用、方針等を定めるもの。

町史編さん事業は

**Q** 発刊スケジュールは。

**A** 昭和50年に編さんした町史を改訂。嘱託職員1名、非常勤職員1名で準備室を設け、町制100周年を記念し平成32年度に発刊する予定。

**Q** 一括代行業務委託での実績目標は。

**A** 委託先は、プロポーザル等で決定。平成20年度から制度開始、26年度33万円、27年度170万円を超える寄附があり、今年度は、目標額を172万円とする。

ストレスチェック

業務委託は

**Q** 改正労働安全衛生法で義務づけられた内容は。  
**A** 年1度、職員の健康診断に合わせ実施、産業医との健康相談と連携を図る。

町有土地取引

斡旋手数料は

**Q** 積極的に公売し、財政収入にしては。  
**A** 斡旋契約と売買価格納入後、2.5%と消費税を支払う。今年度の売却目標額は、1億3千万円。

まちづくりアンケート

調査業務委託は

**Q** 総合計画及び総合戦略の進捗状況の確認とは。  
**A** 総合計画の指標、総合戦略の満足度を測るための調査業務の委託。

子育て関連施設

ハピネスへの移転は

**Q** 子育て関係の集約でメリットは。  
**A** 昨年の機構改革で、子育て支援課がハピネスへ、療育センターも所管、今年度は子育て支援センター、

ファミリー・サポートセンターを移転、子育て機能を一元化し利便性を図る。

空家対策事業は

**Q** 空家等対策協議会の内容と委員の構成は。  
**A** 法律に規定された、特定空家の認定等の協議を有識者12名で行う。

道路改良工事請負費は

**Q** 舗装修繕と打ち替えの判断基準と安全策は。  
**A** 舗装構成は、大型車両の通行量等によって決定される。交通規制に対し、行政区・学校・通行者・歩行者にも十分注意し安全策を図り施工する。

昭和町町営住宅基本計画

修正業務委託は

**Q** 基本計画は平成26年度完了、なぜ修正か。  
**A** 24年度のアンケート結果、入居希望者75戸、今年度の実施設計時は、63戸になり計画の修正となった。(賛成10・反対2で可決すべきものと決定)



どれみ乳幼児園

今年度の目玉  
ピックアップ

## 後期高齢者医療事業

**Q** 平成28年度は、2年に1度の保険料の改定が行われるがどうなるのか。

**A** 前回と比較すると均等割額でマイナス251円。所得割率はマイナス0.14ポイントと若干下がっている。これは、広域連合の会計で剰余金を保険料に充てたためである。

374世帯。資格証明書の発行は94世帯となる。

**Q** 滞納繰越が多いがどう考えているか。

**A** それぞれの事情があるので1件1件真摯に受け止めて、説明して納税のお願いをしている。

(賛成9…反対2で可決すべきものと決定)

**Q** 五ヶ山ダムの完成によって水道料金の値上げの可能性はあるのか。

**A** ダムの受水が始まるから料金が上がるという考えはない。平成27年度の決算を見て判断するが、29年度には料金の改定をしなければ運営できないと試算している。

(全員賛成で可決すべきものと決定)

## 上水道事業

**Q** 督促の実績、滞納金はいくらになるのか。

**A** 督促発送件数は1期から7期で562件、納期到来分の未納額は231万8,160円になる。

(賛成9…反対2で可決すべきものと決定)

**Q** 動力費が前年から200万円余り減額になっているが、その要因は。

**A** 取水ポンプの電力消費を抑えて自然流下で使うようにするなど、経費削減に努めた結果。

## 公共下水道事業

**Q** 下水道整備はあと何年ぐらいかかるか。

**A** 事業計画区域が839haあるが、100%の補助を想定すると、平成34年になる。

(全員賛成で可決すべきものと決定)

## 国民健康保険事業

**Q** 資格証、短期証の発行実績は。

**A** 今年1月14日現在、短期保険証の発行件数が

**Q** 収益の見込みをどう計算しているのか。

**A** 今回840万円収益が増加するという予算を組んでいるが、過去1年分の実績に基づいて算出している。

会 計		平成 28 年度当初予算	平成 27 年度当初予算
後期高齢者医療特別会計		3 億 7,608 万円↓	3 億 7,724 万円
国民健康保険特別会計		52 億 5,005 万円↓	52 億 9,822 万円
上水道事業会計	収益的支出	6 億 9,446 万円↑	6 億 9,370 万円
	資本的支出	2 億 9,521 万円↑	2 億 6,224 万円
流域関連公共下水道事業会計	収益的支出	9 億 2,584 万円↑	5 億 4,142 万円
	資本的支出	9 億 7,118 万円↑	9 億 4,887 万円



光正寺井野線交差点改良工事



有害鳥獣・林道等巡回管理

# 条例審査特別委員会

議会の議員その他非常勤の職員  
の公務災害補償等に関する条例改正

地方公務員災害補償法施行令の一部改正に伴い、併給の調整率0.86を0.88に改正。  
(全員賛成で可決すべきものと決定)

宇美町乳幼児・子ども医療費の支給に関する条例改正

粕屋保健医療圏の医療サービスの充実を図るため、子ども医療費の支給対象年齢の拡大等について所要の規定を整備。  
(全員賛成で可決すべきものと決定)

宇美町重度障害者医療費の支給に関する条例改正

粕屋保健医療圏の医療サービスの充実を図るため、重度障害者医療費の自己負担額を軽減すること等について所要の規定を整備。  
(全員賛成で可決すべきものと決定)

宇美町ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例改正

県の補助金交付要綱の一部改正に伴い、所要の規定を整備。  
(全員賛成で可決すべきものと決定)

宇美町子ども療育センター条例改正

宇美町における、児童の発達相談及び療育訓練を効果的かつ効率的に行うため、実施事業及び施設の管理運営について所要の規定を整備。  
(全員賛成で可決すべきものと決定)

行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定

行政不服審査法の施行に伴い、不服申立てが、審査請求に統一されたことにより所要の規定を整備。  
(全員賛成で可決すべきものと決定)

宇美町行政不服審査会条例制定

行政不服審査法の施行に伴い、不服申立てに係る附属機関を設置する必要があるため、所要の規定を整備。  
(全員賛成で可決すべきものと決定)

宇美町職員の退職管理に関する条例制定

地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する

法律の施行に伴い、退職後に民間企業等に就職した職員が、役職員に対して職務上の依頼行為をすることを規制するため、所要の規定を整備。  
(全員賛成で可決すべきものと決定)

宇美町いじめ防止等対策推進条例制定

いじめ防止対策推進法の施行に伴い、宇美町における、いじめの防止等の対策を推進するため、所要の規定を整備。  
(全員賛成で可決すべきものと決定)

宇美町財政調整基金条例制定

宇美町財政調整基金条例に一本化し、今後の財政需要を見据えた資金調達を行うため、所要の規定を整備。

**Q** 減債基金を廃止する理由は。

**A** 少ない基金を少しずつ出し入れするよりも、他の基金を一本化することで、管理と運用を図る。  
(賛成11：反対1で可決すべきものと決定)

町道路線の変更

主要地方道筑紫野古賀線道路改築等による影響路線、18路線の起点、終点の変更。  
(全員賛成で可決)

字の区域及び名称の変更

第17次宇美町住居表示整備事業（三原区・神山手地区）、原田上6組の一部及び7組追加地区、原田3丁目住居表示整備。  
(全員賛成で可決)

議員免職

宇美町議会会議規則改正  
議員の出産に伴う欠席届の規定を整備。  
(全員賛成で可決)

候補者を推薦

人権擁護委員  
松田 初善氏 (再任)



宇美小学校児童保育施設



小学校給食(スチームコンベクションオープン)

# 宇美町国民健康保険税条例審査特別委員会 委員会報告及び継続議案の採決

## 【改正理由】

平成13年度改定して以来、医療費の改定は行っていない。

また、医療給付費の急激な増加に対し、保険税収入は減っている。

このため一般会計から現在まで累計約17億円の赤字補てんをしている。

一般会計の財政状況を考慮した結果、これ以上、赤字繰入することとは困難な状況であり、国民健康保険税の改定をせざるを得ない。

## 【主な質疑】

**Q** 平均9.3%の値上げであるが、増収見込み額は。

また、改定によって赤字額は解消するのか。

**A** 調定額としては約7千万円増、赤字額の半額は解消する見込み。

**Q** 平成30年から県の運営になるが保険料はどうなるのか。

**A** 県が示す保険料と、町で決定する保険料との差が懸念される。

## 反対討論

大瀬良 議員

消費税増税や非正規雇用の増加の影響で個人消費も伸び悩み、家計支出も減少傾向が続いている。

このような状況下での今回の平均改定率9.3%は大変大きな数字であるといわざるを得ない。

加入者の多くが高齢者や低所得者である国保の構造では保険税中心で運営するには無理がある。今の状況を解決するには国の負担の割合を増やすしかない。

## 賛成討論

南里 議員

低所得者、高齢者が多い国保加入者にとっては、厳しい内容であるが、医療給付費の増加に対し、保険税収入は伸びず、給付と負担のバランスが崩れている。

一般会計からの繰入金金の累計額が、17億円に達し、その解消は喫緊の課題である。低所得者への配慮もなされており、今回の改定には賛成である。

(賛成10 反対3で可決)

# 平成27年度一般会計 補正予算(第7号)

全員賛成で可決

庁舎建替基本構想策定事業

43万円減額  
875万円

低所得高齢者臨時福祉給付金システム改修業務

162万円

低所得高齢者臨時福祉給付金

1億1,100万円

子ども・子育て支援システム改修業務

259万円

自治体情報セキュリティ強化対策業務

1,620万円

宇美東小学校

防災機能強化事業  
3億795万円

井野小学校

防災機能強化事業  
8,478万円

※全て28年度に繰り越して実施

# 平成28年第1回臨時会

2月2日

宇美町職員の給与に関する

条例等の一部改正

人事院勧告により、職員の給料月額及び勤勉手当の額、町長・副町長・教育長・議員の期末手当額の改定。

(全員賛成で可決)

平成27年度

井野第2汚水幹線(1-4)築造工事請負契約の締結

工事概要

推進工法・開削工法付帯工一式

工事請負人

大和技建株式会社

予定価格

8,239万8,600円

請負契約額

7,093万6,560円

落札率

86.09%

工期

契約効力の発生の日から

平成28年6月30日まで

(価格については消費税を含む)

(全員賛成で可決)

# 採決結果一覧表

[○:賛成 ●:反対]

議案番号	件名	結果	時任裕史	黒川悟	南里正秀	大瀬良利之	脇田義政	小林征男	飛賀貴夫	鳴海圭矢	藤野莞嗣	犬塚齊	古賀ひろ子	松下弘毅	藤木匠	白水英至	
第1回臨時会	議案第1号	和解及び損害賠償の額の決定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長に表決権はありません	欠席
	議案第2号	工事請負契約の締結 (平成27年度井野第2污水幹線(1-4)築造工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第3号	宇美町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第4号	平成27年度 宇美町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第5号	平成27年度 宇美町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第6号	平成27年度 宇美町上水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第7号	平成27年度 宇美町流域関連公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第8号	平成27年度 宇美町一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
3月定例会	議案第44号	宇美町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 (平成27年継続審査分)	可決	●	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	議長に表決権はありません	
	議案第9号	町道路線の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第10号	和解及び損害賠償の額の決定についての議決内容の一部変更(議案第1号関連)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第11号	字の区域及び名称の変更 (住居表示整備事業に伴う変更)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	発議第1号	宇美町議会会議規則の一部を改正する規則 (議員の出産に伴う欠席届の規定を整備)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第12号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第13号	宇美町乳幼児・子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第14号	宇美町重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第15号	宇美町ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第16号	宇美町立子ども療育センター条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第17号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第18号	宇美町行政不服審査会条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第19号	宇美町職員の退職管理に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第20号	宇美町いじめ防止等対策推進条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	議案第21号	宇美町財政調整基金条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案第22号	平成27年度 宇美町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第23号	平成27年度 宇美町上水道事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			



# 採決結果一覧表

○：賛成 ●：反対

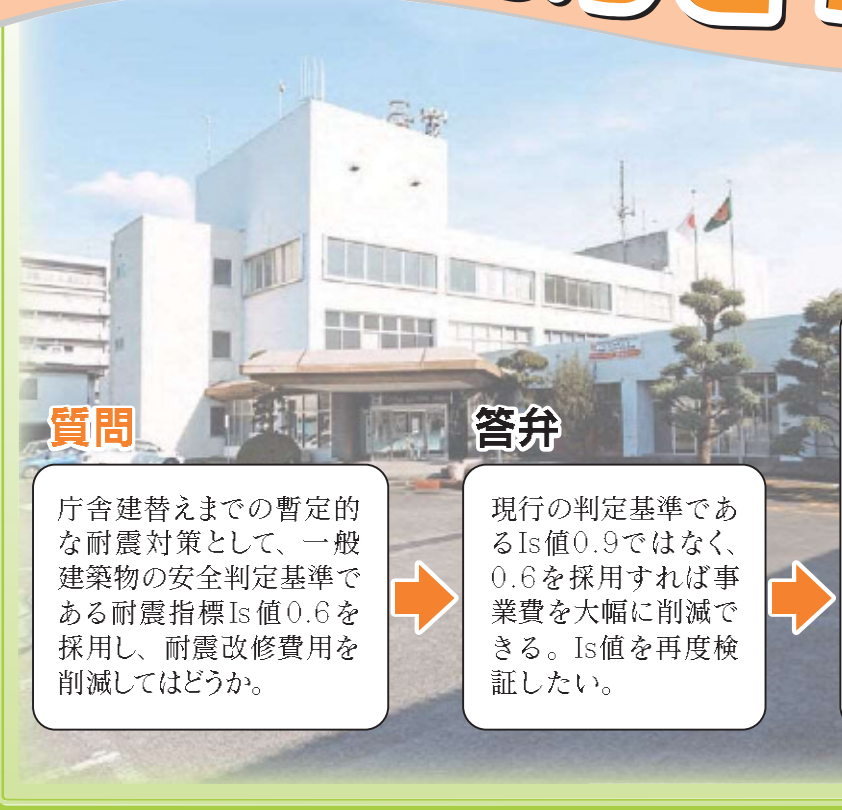
議案番号	件名	結果	時任裕史	黒川悟	南里正秀	大瀬良利之	脇田義政	小林征男	飛賀貴夫	鳴海圭矢	藤野莞嗣	犬塚齊	古賀ひろ子	松下弘毅	藤木匠	白水英至
議案第24号	平成27年度 宇美町流域関連公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	平成27年度 宇美町一般会計補正予算（第7号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	平成28年度 宇美町後期高齢者医療特別会計予算	可決	●	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
議案第27号	平成28年度 宇美町国民健康保険特別会計予算	可決	●	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
議案第28号	平成28年度 宇美町上水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	平成28年度 宇美町流域関連公共下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	平成28年度 宇美町一般会計予算	可決	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○

議長に表決権はありません

## あれはどげん なつとりますと？



定例会で議員が出した一般質問は、まちづくりにどう生かされているのでしょうか。その後を追います。



### 質問

庁舎建替えまでの暫定的な耐震対策として、一般建築物の安全判定基準である耐震指標Is値0.6を採用し、耐震改修費用を削減してはどうか。

### 答弁

現行の判定基準であるIs値0.9ではなく、0.6を採用すれば事業費を大幅に削減できる。Is値を再度検証したい。

### その後

平成27年度にIs値0.6を採用し、庁舎の暫定的な耐震改修を実施した。

（Is値とは建物の耐震性を示す指標で、Is値が大きいほど耐震性が高いと判断される。）

※詳しくは宇美町ホームページを参照ください。



# 駅に観光物産 コーナーを

## 答 JR も前向きな回答



南里 正秀 議員

**問** 都市計画マスタープランを通じた都市づくりの最大の課題はJR宇美駅の無人化と考える。

JR九州は、長期的にネットワークを維持するため無人化はやむを得ないと説明。

今後無人化は進む一方と懸念される。

現状と今後の見通しは。

**総務課長** 無人化されて1年が経過。町長、議長の陳情をはじめ、行政区による署名活動など行っているが進展は見られない。

今後も有人化復活に向けて要望活動を続けたい。

**問** 宇美駅は町の「へそ」に当たる大切な拠点。無人化になり、若者たちの溜まり場になるなど、治安上も好ましくなく、町のイメージダウンにもつながる。

有人化に向けたJR

の対応が困難と判断されれば、暫定的な措置として、町が駅舎を借り受け、観光物産コーナーや町民ギャラリーなどコミュニケーション空間として利用してはどうか。

**町長** 駅舎の有効活用については、JR側から、地元での活用の手立てがあれば、前向きに協力したいとの回答を得ている。

今後、活用方策も視野に入れ、宇美駅や周辺エリアの活性化に向けて検討したい。

**問** 「共働きの都市づくりの推進」として地域コミュニティを核とした都市づくりを目指しているが、現在直面している課題と解決策は。まちづくり課長

様々な広報活動を進めているが、町民への認知度は深まっていない。

新年度は地域コミュニ

ニティと行政のつなぎ役として「地域づくりコーディネーター」を配置し、より充実した支援をしていきたい。

**問** 都市づくりの課題を解決するためには多くの財源が必要。

今後、役場庁舎の建て替えや公共施設の大規模改修など厳しい財政状況が続く。

財政健全化計画を策定し、確実に実行する

ことが大切と考えるが。  
**町長** 当町には避けて通れない重要な課題が山積している。

これらを着実に解決していくために、行政改革を推進していく必要がある。

財源確保に向けた歳出の抑制、歳入の拡大を図るため、選択と集中を基本として、組織一丸となって取り組んでいく。



▲シャッターが下りたまの宇美駅



古賀 ひろ子 議員

# 女性が輝く社会を

## 答 積極的に女性を登用

**問 「女性活躍推進法」を着実に推進するため、女性の活躍状況の把握、当町の現状と数値目標などの「事業主行動計画」策定・公表の考えは。**

**総務課長** 国又は地方公共団体は、特定事業主行動計画の義務づけがされ、当町も素案を策定した。

採用した女性職員の割合、平均勤続年数の男女差、管理的地位に占める女性職員の割合、役職段階の女性職員の割合、男女別の育児休暇の取得など把握、課題分析を行い早急に公表していく。

**問 男女共同参画推進協議会は**  
**① 行動計画の策定**  
**② 基本条例制定に係る基本的事項など協議とあるが進捗状況は。**

**まちづくり課長**

①男女共同参画うみプランの改定時期になり平成28年度予算に計上し様々な取組を行っている。

②基本条例の制定に向けた検討はしていない。

**問 「男女共同参画計画」の策定及び「女性活躍推進」協議会の設置はどうか。**

**課長** 「女性活躍推進協議会」の設置は任意だが「男女共同参画推進協議会」を活用し、女性の活躍を地域ぐるみで応援するための協議の場とする。

**問 町行政における政策・方針決定過程への女性の参画拡大の考え、農業・防災分野に女性の参画、女性消防団員などの環境整備はどうか。**

**農林振興課長**

宇美町農業委員会の選挙委員定数11名に対し、女性委員はゼロの現状。

平成28年4月施行の農業委員会法の改正により、女性農業委員が一人もいない農業委員会をゼロにしようという目標が定められている。

女性が積極的に登用されるよう、関係機関へ周知徹底を図る。

**安全安心担当課長**

平成27年4月現在、粕屋地区において、古賀市、篠栗町、新宮町で女性消防団員が入団している。

当町は平成27年12月時点で消防団定数197名に対し、176名、21名欠員状況。

消防団と協議研究を重ね、積極的に女性消防団員の入団促進を図りたい。



▲農家の方に高菜漬けを教わる

# JR 宇美駅 無人化対応は

**答** ねばり強く取り組む



鳴海 圭矢 議員

**問** JR宇美駅が無人化して、はや一年。駅員は必要という町民の要望は根強いと確信している。町として無人駅の問題をどう捉えているのか。

**総務課長** 駅はその町の顔である思っている。JR九州の方針もあり、長い道のりになるだろうが、いつかは有人化復活を願いたい。駅舎を何らかの方法で活用できないかという気持ちもある。

**問** 駅舎の線路側は道路と線路を隔てるものがほとんどない状態である。落差もあり、危険である。フェンスを設置するなど安全対策が必要ではないか。

**建設課長** 過去にJRから転落防止柵の設置要望が出されている。平成28年度において交通安全対策交付金を活用し、ガードレールの設置等を現在検討している。

**問** 駅横の公衆トイレは多目的トイレが封鎖されたままである。また、男性トイレは寒波による水道管破裂が原因で水が止まっている。改修の見込みはどうか。

**財産活用課長** 多目的トイレの扉は修繕しては壊されの繰り返しであるが早々に対応したい。

男性トイレは町内管工事組合とも話し合いをしているが、まだ一般家庭の修繕が終わらないのでそちらを優先している。

現在工程等について調整をしている。

**問** 有人化に向けてねばり強く取り組む姿勢を執行部として今後も堅持してほしい。今後、具体的にどういう形でJRと協議をするのか。

**総務課長** 地元の国会議員を通じて陳情など今後も有人化に向けて活動していきたい。



▲ガードレールの設置を検討



黒川 悟 議員

# 今後の インフラ整備は

## 答 財源確保に取り組む

**問** 上下水道は、町民生活の基盤となる生命線であり、ライフラインが止まると社会に重大な影響を与える、埋設配管の劣化で布設替えが必要と思うが、状況は。

**上下水道課長** 下水道整備に伴い、布設替えを行ってきた。耐用年数を迎える地区は、平成37年度までの長期整備計画を現在作成している。

**問** 県道筑紫野古賀線、桜原交差点に対する信号機の改善は。

**建設課長** 粕屋署には要望しているが、渋滞等が懸念され、改善には至っていない。町道側で交差点の路面に注意喚起を行う。

**問** 県道筑紫野古賀線の今後の見通しは。

**課長** 総延長の4割が4車線化。太宰府までの2.1kmについて、現地調査及び測量を経て詳細設計並びに警察協議が進められている。道路計画に基づき、地元説明会や用地交渉が行われていく。

**問** 町道、町内全般の安全施設等の点検、整備は。

**課長** 台風や豪雨等非常時は、町内全域をパトロール、道路等の状況把握に努めている。各行政区の要望は、現場を確認、職員で対応、必要性等を総合的に判断し、事業の実施を検討している。産業や生活の基盤となる道路整備については、予算内で現状把握に努めたい。

**問** 公園等の定期点検及び整備状況は。

**都市計画課長** 宇美町コミュニティ・センターに業務の一部委託、月に1度すべての公園等を点検している。緊急の場合、即時報告が入り、使用禁止の措置又は修繕を行っている。

**問** 昭和の森トイレを補助金活用で改修できないか。

**課長** 県との協議の中で社会資本整備総合交

付金を利用して可能な検討中である。

**問** 基金取り崩しを踏まえ、インフラ整備等の遅れが懸念されるが。

**町長** 平成28年度に公共施設の総合管理計画を策定、整備、更新、統合等の検討をする。財源確保は、より一層の選択と集中による財政運営を行い、歳出削減に努める。



▲原田小学校通学路整備

# 保育士の処遇改善を

## 答 前向きに検討



脇田 義政 議員

問 子ども子育て支援

新制度が始まって一年、相変わらず待機児童が問題となっている。

保育士の有効求人倍率は全国的に高い。

保育所を増やしても保育士が不足しているので、待機が発生している。

町の待機児童の状況と待機が発生し、解消しない主な理由は、子育て支援課長

子育て支援課長

現在57人が待機となっている。その内0歳児から2歳児までが51人という状況。

主な要因は、求職中も入所申し込みが可能となり、申込者が増えたこと。

3歳未満児について、保育士の確保ができなかった。

問 保育士が不足している大きな原因は、保育士の賃金や処遇が低く抑えられていること。保育士の賃金は、教員

と比べて月額で13万円低く、全業種と比べても11万円低いと言われている。

町の保育士の賃金及び賃金構造はどのようになっているのか。

課長

保育士の賃金は、現在、2種類で、担任保育士は、月額22万100円、担任以外は月額16万5,900円。

問 年収200万円から260万円位で、税、保険料を差し引かれると手取りは僅かである。まさに非正規公務員のワーキングプアと呼ばれる所以である。

このように低い賃金にもかかわらず、保育士の仕事は、非常に厳しい実態である。

アレルギーの子どもや特別の配慮が必要な子どもたち（それぞれ約8%在園）への対応や突然死など一歩誤れば命にかかわる仕事を

している。

また、保育士は、様々な問題を抱えている保護者や家庭との相談、支援というソーシャルワーカーとしての機能と役割も果たしている。

派遣保育士ではなく、正規、嘱託等を用い、スキルアップできる環境の整備が、保育士の定着と保育の質を高め、子育て支援の充実につながると思うが、町長の見解を聞きたい。

町長

「子育てをするなら宇美町で、子どもを産み育てやすいまちづくり」を目標に掲げている。

待機児童ゼロを目指し、また、保育の質と量を確保し、安定した保育運営が図られるよう、保育士の処遇改善については、前向きに検討を進めていきたい。



▲早見保育園



大瀬良 利之 議員

# 今後の RDF 事業は

## 答 基本は事業延長

**問** 当町ではクリーンパークわかすぎでごみを RDF 化しており、平成 29 年で 15 年になる。早期に議論する時期に来ていると思うが、RDF 事業についてどう評価しているか。

**環境課長** 現時点は事業の途中であり、直接の評価は早いと考えるが、当初の計画通りにはいっていない。

具体的には処理金額が当初の想定よりも多くかかり、採算性の面でうまくいっていないと感じている。

しかし稼働延長の方向で協議中、健全な事業運営に尽力したい。

**問** 処理委託料は今まで何回値上げしたか。

**課長** 平成 14 年に始まり、平成 16 年、18 年、24 年の 3 回上がっている。修繕費の増加、RDF 搬入量の減少が主な原因。

その後、平成 25、

26、27 年とわずかながら下がっている。

**問** RDF 施設は補修をして事業を継続するのか、解体するのか。費用はどれくらいになるのか。

**課長** 基本的には適切な補修をしたうえで事業を延長する方針。費用は試算していない。

**問** 会計検査院の RDF 施設に対する指摘についてはどう受け止めているか。

**課長** 全国的に運営費がかさんでいる施設が多い状況であり、実際宇美町が加入している RDF 事業も高めであると分析している。

**問** 今後どのような廃棄物処理を行っていくのか。

この議論を早急に進めるべきだと思いが見解はどうか。

**町長** 県は平成 34 年まで大牟田リサイクル発電事業を継続するので、当町もこれに沿っていくべきだろうと判断している。

その後は関係自治体と協議することが大事

だと思う。  
平成 28 年度中には一定の方向性を定めなければと思っている。

### その他の質問

◆し尿処理施設契約は



▲宇美町がごみ処理を委託しているクリーンパークわかすぎ

# 備えあれば憂いなし

## 答 早期の注意喚起



松下 弘毅 議員

**問** 平成28年1月、大寒波に宇美町も約500世帯に被害を受けた。

**宇美町の被害状況は他市町と比べ軽いように思えるが、事前寒波対策はどうしたか。**

**上下水道課長**

事前対応として、防災行政無線で2日間、午前9時・午後6時に蛇口は閉めずに、糸状に水道水を出してくださいとの内容で注意喚起を行った。

被害状況は「水道水は出るがお湯が出ない」との内容から給湯設備等の対応が不足していた。

今後は、早い時期から広報やホームページに掲載、新聞やメディアによる注意喚起を福岡県水道協会等へ要望したい。

**問** 災害対策本部の設置はどうか。

**課長** 政策調整会議を

開き、各課連携し応援態勢等で、断水を回避できたため、災害対策本部設置に至らなかった。

**問** 町有施設の事前対応と被害状況は。

**課長** 保育施設では、

屋外配管はタオル等を巻き対応したが、蛇口パッキン等破裂、給湯設備の屋上配管の一部破裂、給湯器本体から漏水。

学校施設では、日頃から施設維持管理等は周知徹底しているが、人の目で見えない箇所、高所・水道管の老朽化した箇所等で破裂漏水。

東中学校では、受水槽周りの配管破裂、上水注入ポンプ及び配管破裂で、全館で水が出なくなり、1月26日は午後の授業を短縮する事態となった。

現在は、仮配管で対応、広範囲のため、完

全復旧までには日数を要する。

**問** 空家に対しての対応は。

**課長** メーターを取り外し、止水栓を止めている状態で今回の漏水は少ないと考える。

長期入院等の空家で漏水発生、近所の方による対応、役場への連絡が多数であった。

配水池の配水量が多くなった地域を絞り、漏水調査及び止水栓止めを行った。

2日間で、検針員による全域にわたる漏水調査及び止水栓止めを実施。

2月検針時に、前月と比較して、使用水量の多い家庭には、声かけや文書を投函し知らせている。



▲1月24日漏水現場にて対応





飛賀 貴夫 議員

# 当町の行財政運営は

## 答 積極的に行財政改革を

**問** 平成25年度末に約21億円あった基金が、27年度には14億円になる見込み。

**この2年間で7億円も取崩した要因は。**

**政策経営課長** 平成26年度は下水道の繰出金、消費税増税などの増、歳入では臨時財政対策債の減。

27年度は、学校施設の整備費、宇美小学校学童保育所の新築、防災対策費などの増、歳入では普通地方交付税の減などが要因である。

**問** 基金残は、他市町村と比較してどうか。

**課長** 平成26年度末では約17億円、県下では下から2番目で、非常に少ない状況である。

**問** 行財政改革を行う予定は。

**課長** 行財政改革に先立ち、経費の削減案を収集、精査し、4月以降積極的に取り組んでいく。

いく。

**問** この財政危機に、昭和町町営住宅の建替えを推進すべきか。

**財産活用課長** 老朽化が深刻で見越すことはできない。

建築費が高騰すれば家賃に跳ね返り入居者の負担を強いる。

基本計画の見直しを予定しており、スケジュールが当初より延びる。

**問** この事業を未来永劫継続するのか。

**課長** 国の指針で、当初からの入居者が全体の5割以下になった場合、一般の公営住宅にすることができると。今後は、これを目指す。

今後は、これを目指す。

**問** RC4階建てではなく、木造や軽量鉄骨の2階建てだと建築費が安価で耐用年数も10年、20年は十分持てる

と思うが。

**課長** 改めて県に相談し、方針を定めていきたい。

**問** 貴船保育園の裏に小山があるが、登り易く整備を行い、頂上の

平らな所を整備し、公園として町民の憩いの場を作ってはどうか。

**課長** 間伐等を行い散策ができる歩道などを検討し、現状改善を図りたい。



▲貴船保育園裏山の公園

# 総務建設常任委員会

委員長	藤野 莞嗣	の対応、入金確認、お礼、返
副委員長	脇田 義政	礼品の発送など事務が煩雑化
委員	小林 征男	している。
委員	藤木 匠	平成28年度から、この事業
委員	黒川 悟	に民間のノウハウを取り入れ
委員	鳴海 圭矢	たふるさと寄附金一括代行制
委員	時任 裕史	度の導入を計画している。

## まちづくり課

### ふるさと宇美町応援寄附事業の状況

寄附金の実績は、平成25年度187万6,417円、26年度33万4,020円、27年度は1月末で173万116円となっている。

返礼品は、5千円以上の寄附に500円の図書カードを贈呈。図書カードはなくなり次第ポストカードに変更していく。

寄附に関する電話やメール等による問い合わせ、窓口で

三郡山という自然を有効活用した登山会をメインに、1年間を通して観光PR事業を展開していきたい。

平成28年度は、「四季折々の魅力発見！宇美町三郡山登山」を計画している。

「うみで山開きー春の登山」「山の日ー夏の記念登山」「秋の紅葉登山」「河原谷の大つらら鑑賞登山」を計画しており、河原谷コースとつき谷Bコースの2コースをPRしていく。

**Q** 宇美町の知名度が上がり、寄附額も増えるという事であるが、目玉として売り込む商品の検討などされているのか。

**A** 現在、確定的なものはないが、宇美町にあるものの中から付加価値をつけて魅力的なものを作りたい。

**Q** ステージや展示、販売ブースをなぜやめたのか。

**A** 予算が170万円要しており、財政の見直しの観点からもやむなしと考えている。

**Q** 山登りに対し、体力に自信がない人のため、健康ウォーキングを考えては。

**A** 3月27日「春の息吹体感ウォーキング」を企画している。

## 農林振興課

### 宇美町食育・地産地消推進計画

食生活の改善による健康の増進を基本に、「食育」の観点に立ったまちづくりを進めるため、地域、家庭、保育園、学校、生産者などが連携し、総合的、計画的に推進するための指針として本計画を策定した。

「宇美町食育・地産地消推進会議」を設置して計画の推進状況の把握、見直し、団体等のサポートを行っていく。

11月から関係課で検討会議を4回行ってきた。

**Q** 地産地消の推進を行うために、生産者への減農薬栽培などの指導は。

**A** 町内では、有機農法やアイガモ農法による米作りをしている農家もある。

また、農業法人化を視野に入れた集落営農組織をつくるよう勉強会を行っている。

その中で減農薬栽培などの話もすすめていきたい。



▲宇美町食育・地産地消推進計画

# 厚生文教常任委員会

- 委員長 飛賀 貴夫  
副委員長 犬塚 齊  
委員 松下 弘毅  
委員 大瀬良利之  
委員 藤木 匠  
委員 南里 正秀  
委員 古賀ひろ子

## 学校教育課

平成27年度全国学力・学習状況調査、福岡県学力実態調査の報告

全国学力・学習状況調査は小学6年生と中学3年生、福岡県学力実態調査は小学5年生と中学2年生が対象。学力向上の取組として、各学校における分析・改善、町内研修会における情報交流、中学校入学準備課題の作成を実施。

**Q** 基礎学力の向上には家庭学習を重視した取組が必要ではないか。

**A** 小学校では保護者を交えた授業や説明会、中学校では自学ノートを作成するなど、家庭学習についての授業を開催している。

## 社会教育課

九州最古級の密教法具「独鈷杵」四王寺山で発見

四王寺山を登山中の町民が発見。平安時代後期の作例と考えられる貴重な文化財であり、その実態が謎に包まれている四天王寺（四王院）の本格的調査の契機となる資料である。



▲独鈷杵 (とっこしよ)

## 子育て支援課

新年度入所予定児童数及び待機児童数は

平成28年度は、478名が継続として入園となっている。

新入園児申込者数は、2月10日までに、244名の申込みで昨年と比べて44名多い。

認可保育所、認定子ども園等、総計178名が入園予定。今年度の春に小規模保育施設の開園を予定しており、4月中旬から5月にかけて準備が整い次第入園予定で、待機児童は61名。

町立保育園の入所率は、92%で現在定員を下回っている。

保育士の確保ができません。0歳、1歳、2歳児の待機が出ている。

保育士の確保については、随時募集を行っており、確保ができ次第、随時案内を行っていく。

**Q** 保育士不足は深刻な問題である。処遇改善が一番ではないかと思うが何か

## 考えは。

**A** 宇美町においても処遇改善ということで、基本的に給料体系の見直しを検討している。



▲宇美タンポポ保育園

は65歳以上の高齢者が介護を要する状態にならずに自立して暮らし続けられるよう、介護予防や生活支援のためのサーピスを行うことを目的として、平成29年4月からすべての市町村で実施する。

本町においては、平成28年3月より、現在サーピスを利用している方が混乱しないよう十分に配慮し、進める。

また、地域に根ざした元気な時から健康づくりが介護予防であることを推進し、住民全体で参加しやすい切れ目のない活動を支援する。

**Q** 変更の内容は。

**A** 生活支援サーピスとして、栄養改善の配食や見守りの制度が新しく加わる。

また、一般介護予防事業にボランティア育成事業が位置づけられ、小学校区単位とした範囲で活動できるボランティアの育成を社会福祉協議会に委託する。

## 福祉課

介護予防・日常生活支援総合事業が始まる

介護保険法に規定する介護予防・日常生活支援総合事業



## 原田の郷 原田小学校区コミュニティの取組

平成 28 年度に向けて

コミュニティ活動は、急速に進む高齢化社会に備えて地域の交流を活発にし、安全で安心で  
きる活力にあふれる地域を住民自らが創造していくことに意義があります。

自治会は、これまでどおり住民の皆さんに最も近い存在であり、住民生活に直結した問題の  
解決に当たります。

地域コミュニティは、自治会、地域の諸団体、ボランティア等と密接に連携しつつ、地域で  
暮らす住民の生活向上に取り組んでまいります。  
運営協議会会長 安川 一馬

### 活動内容は

- ◆企画・検討部 コミュニティ活動の中・長期計画の立案、特定事業の企画実施など
- ◆公民館活動部 各種スポーツ大会の企画・実施、地域行事（運動会・文化祭など）の企画実施
- ◆青少年育成部 子どもリーダー育成、交流事業・地域探検事業の企画実施  
小・中学校、PTA・CSとの連携
- ◆健康・福祉部 高齢者見守り活動、講演会、敬老会の企画実施・認知症勉強会、健康料理教室など企画実施
- ◆環境整備部 一斉清掃、地域美化運動、環境保全の企画実施、防犯対策、交通安全対策の推進  
防災対策の推進
- ◆地域づくり部 地域の交流事業の企画実施、広報誌発行、産業振興



高パト巡回隊



グラウンドゴルフ大会



中学校文化発表会参加

### コミュニティ活動に参加して

あいさつ声かけ運動・登下校の見守り活動を毎日行うことで、  
子ども一人ひとりとふれあい一日が本当に充実しています。  
この場に元気で立てる喜びを感じ、健康管理にも努めます。  
これからも、子どもの笑顔が見られるよう、毎日、見守り続け  
たいと考えています。



## 議会からのお知らせ

### 議会を傍聴しませんか！

議会は年4回（3月・6月・9月・12月）に定例議会が開かれます。

役場3階の傍聴席入口で住所・氏名を記入し、ご入場ください。

**次の定例議会は、6月10日に開会予定です。**

※ 詳しくは宇美町議会事務局（TEL092-934-2248）まで  
お問い合わせください。

議会だよりへのご意見・ご感想をお待ちしております。

議会事務局のメールアドレスです。gikai@town.umi.lg.jp

【発行責任者】

議長 白英至

【議会広報常任委員会】

委員長 古賀

副委員長 鳴海

委員 脇田

委員 南里

委員 飛賀

委員 黒川

貴正秀 夫秀政 悟夫秀 貴正秀

圭ひろ子

海賀

田賀

脇田

南里

飛賀

黒川